

自分でもできる

雨庭づくり

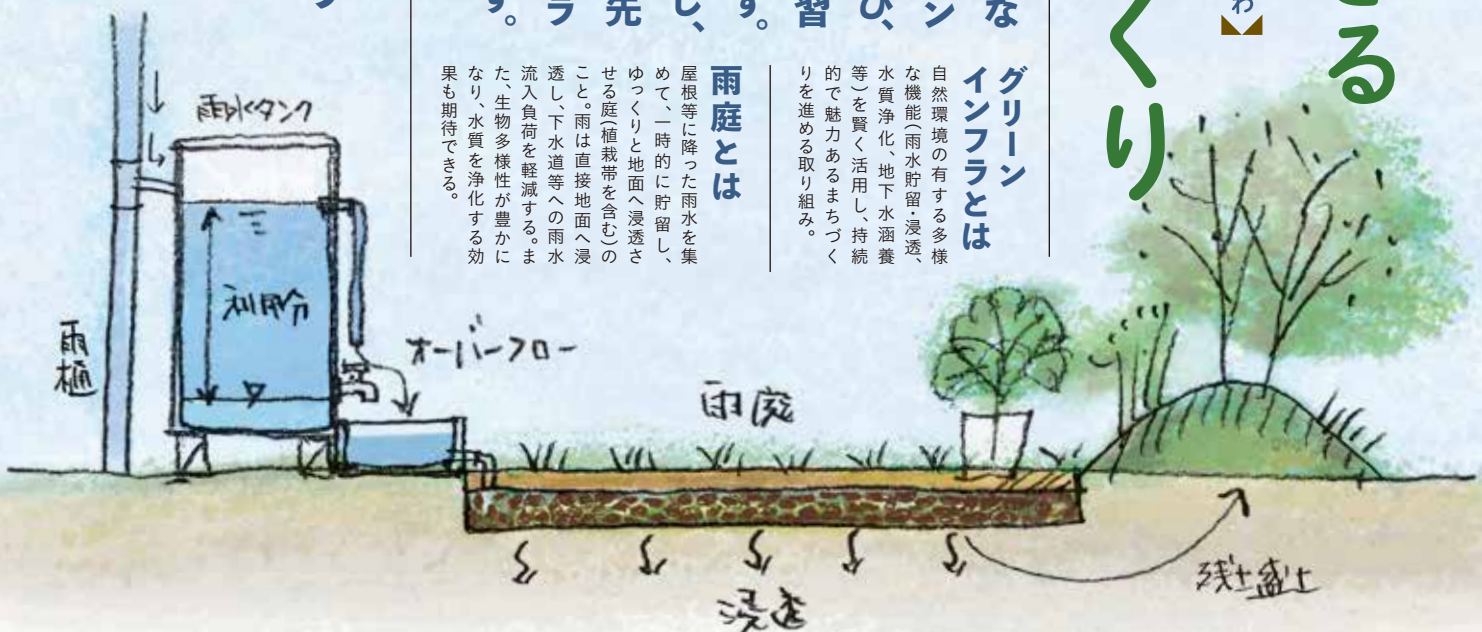
【あめにわ】

全3回で、自然環境が持つ多様な機能を賢く利用するグリーンインフラや雨水利用等を体系的に学び、自分でも実践できる「雨庭」を演習フィールドで手づくり施工します。本講座は、「雨庭づくりを実践し、その魅力や意義を地域の中で率先して広めていく」グリーンインフラリーダーの育成を目指しています。

※グループワークやディスカッションを通じた、主体的な学びの場です。

グリーンインフラとは
自然環境の有する多様な機能(雨水貯留・浸透、水質浄化、地下水涵養等)を賢く活用し、持続的に魅力あるまちづくりを進める取り組み。

雨庭とは
屋根等に降った雨水を集めて、一時的に貯留し、ゆっくりと地面へ浸透させる庭(植栽帯を含む)こと。雨は直接地面へ浸透し、下水道等への雨水流入負荷を軽減する。また、生物多様性が豊かになり、水質を浄化する効果も期待できる。



●日時

【第1回】 10月22日

【第2回】 10月29日

【第3回】 11月18日

10時～17時

●カリキュラム

●概論(豪雨対策/グリーンインフラ/雨の歴史・循環/みどりの役割ほか)

●事例見学

●雨と植物のことを学び、雨庭のつくり方を知る

●演習場所の観察調査を行ない、雨庭を手づくり施工する

●「自分でもできる雨庭」プランづくりと講評

●決意表明
本カリキュラムは全3回の連続講座です

●主な講師

神谷博 かみやひろし

NPO雨水まちづくりサポート理事長/法政大学エコ地域デザイン研究センター客員研究員
建築家。景観アドバイザー。共著『井戸と水みち』『雨の建築学』ほか。業績「2011年度土木学会賞・デザイン賞優秀賞ほか」

矢田陽介 やたひょうすけ

造園家/一級造園施工管理技士
世田谷区内の集合住宅を「コミュニティガーデン」たぬき村として地域に開く活動を経て、現在は、神奈川県相模原市緑区の藤野地域にて里山の暮らしの風景づくりを実践中。

福岡孝則 ふうおかたのり

東京農業大学 地域環境科学部 造園科学科 准教授
ベンシルバニア大学芸術系大学院ランドスケープ専攻修了後、米国・ドイツのコンサルタントを経て現職。主な作品に「南町田グランベリーパーク」ほか

【座学・演習会場】
**世田谷トラストまちづくり
ビクターセンター** (成城4-29-1)
●小田急線「喜多見」駅より徒歩13分
「成城学園前」駅より徒歩17分
【応募締切】
10月5日(木) 必着
【募集人数】
15名程度 ※応募多数の場合は抽選
(世田谷区内在住・在勤・在学優先)

【申込方法】 1か2のいずれかの方法でお申込みください。

1 WEBからのお申込み ※Peatix Japan株式会社の申込みサービスを利用
こちらの二次元コード・URLからアクセスください。
<https://setagaya-gi2023.peatix.com>



2 右段の【お問い合わせ】へお電話ください。「エントリーシート」をお送りします。FAX送信後は必ずお電話ください。
※財団ホームページからも「エントリーシート」をダウンロードできます。
<https://www.setagayatm.or.jp/trust/support/gi/planning-study.html>

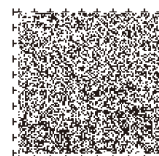


【お問い合わせ】

(一財)世田谷トラストまちづくり トラストみどり課
〒156-0043 世田谷区松原6-3-5
梅丘分庁舎1階
受付時間/平日8:30~17:00

TEL.03-6379-1624
FAX.03-6379-4233

当財団にお寄せいただいた個人情報は、財団からの連絡に利用させていただきます。第三者に提供することはありません。個人情報の全部または一部を委託する際は、利用目的の範囲内で適法にこれを行います。また、開示請求等の場合は、個人情報保護管理者(電話03-6379-4300)までお問い合わせください。



17003087